

一般社秋歯発第304号
令和8(2026)年10月8日

一般社団法人秋田県歯科衛生士会
会長 村田 薫 様

一般社団法人秋田県歯科医師会
会長 藤原 元



秋涼の候、益々ご隆昌のこととお慶び申し上げます。

平素は、本会会務運営に格別のご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、今年度の標記大会並びにフォーラムを別紙要領により開催することとなりました。大会では県民よい歯の表彰、フォーラムでは「フレイル予防で健康長寿～お口の元気から始まる健やかな暮らし～」をテーマに、地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター 病院歯科口腔外科部長 平野 浩彦先生を講師に迎え、特別講演を行うこととしております。

つきましては、ご多用のところ誠に恐縮に存じますが、貴職を通じて関係者の方々に広くご案内賜り多数ご参加下さいますようご配慮のほど、よろしくお願い申し上げます。



第 25 回秋田県歯科保健大会 並びに

歯科保健医療フォーラム

～ウエル咬ム秋田～



1. 開催目的

県では、全ての県民が健康上の問題で日常生活を制限されることなく、生きがいや豊かさを感じ暮らせる健康長寿社会の実現のため、健康寿命延伸に向けた取り組みを効果的に推進するための基本方針として「第3期健康秋田21計画」を策定し、生活習慣の改善と、フレイル予防やこころの健康などの心身両面の健康づくりを推進する取組を行っている。特に、歯や口腔の健康を維持し、オーラルフレイルを予防し、お口の機能低下を防ぐことは、全身のフレイルを予防し健康寿命を伸ばすための重要な鍵となる。

本大会では「フレイル予防で健康長寿」を掲げ、口腔機能の維持・向上が果たす役割についての学びを深めることで、県民の歯科保健意識の更なる醸成を図るとともに、全県的な歯と口腔の健康づくりを推進し、県民の生涯にわたる健康と幸福に寄与することを目的とする。

2. 開催日時 令和8年11月7日（土） 13:00～16:00

3. 開催場所 秋田キャッスルホテル 4階 「矢留の間」
(〒010-0001 秋田市中通1丁目3番5号 TEL: 018-834-1141)

4. 対象者 歯科医療関係者、行政関係者、幼稚園・保育所・小中高校の保健関係者、各種団体における関係者、歯科医療専門学校学生、一般県民 等

5. 参加料 無 料

6. 主 催 秋田県、秋田県教育委員会、秋田県歯科医師会

7. 共 催 秋田県農業協同組合中央会、秋田県食生活改善推進協議会、秋田県栄養士会、秋田県ごはん食推進会議、秋田県歯科技工士会、秋田県歯科衛生士会、秋田県歯科医療専門学校

8. 後 援 日本歯科医師会、8020推進財団、日本学校歯科医会、秋田市、秋田市教育委員会、秋田県医師会、秋田県薬剤師会、秋田県看護協会、秋田県社会福祉協議会、秋田県小児保健会、秋田県養護教諭研究会、秋田県言語聴覚士会、秋田県理学療法士会、秋田県作業療法士会、秋田県老人福祉施設協議会、秋田県介護老人保健施設連絡協議会、秋田県介護支援専門員協会、秋田県介護福祉士会、NHK 秋田放送局、ABS 秋田放送、AKT 秋田テレビ、

AAB 秋田朝日放送、エフエム秋田、秋田魁新報社、朝日新聞秋田総局、毎日新聞秋田支局、読売新聞秋田支局、河北新報社 [順不同]

9. 内 容

〔第 25 回秋田県歯科保健大会〕 * 受付開始 12:30

(1) 開 会 (13:00)

挨拶

秋田県知事

秋田県教育委員会教育長

秋田県歯科医師会会長

鈴木 健 太

安 田 浩 幸

藤 原 元 幸

(2) 県民よい歯の表彰等 (13:20)

① 令和 8 年度 秋田県学校歯科保健優良校表彰

② 令和 8 年度 秋田県歯科保健優良幼稚園・保育所(園)・認定こども園表彰

③ 令和 8 年度 8020 いい歯の表彰認定証表彰

④ 令和 8 年度 臼井記念歯科保健功労賞表彰

〔歯科保健医療フォーラム〕

テーマ：「フレイル予防で健康長寿～お口の元気から始まる健やかな暮らし～」

(3) 特別講演 (14:00～)

演 題： 『口の健康が健康長寿を支える - オーラルフレイルをご存じですか? -』

講 師： 地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター

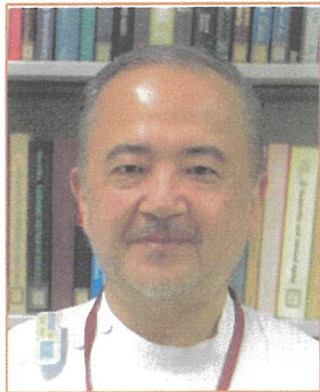
病院歯科口腔外科部長 平野 浩彦 先生

(4) 閉 会 (16:00)



特別講演：講演要旨

口の健康が健康長寿を支える - オーラルフレイルをご存じですか？ -



地方独立行政法人
東京都健康長寿医療センター

病院歯科口腔外科部長 平野 浩彦

健康長寿を支えるには、病気を予防・治療するだけでなく、食べる、話す、人と交流するといった日々の生活を保つことが重要である。高齢期には、食事や栄養の不足、筋力の低下、転倒などの問題が重なり、心身の活力が低下する「フレイル」から、介護が必要な状態に至ることがある。その中で、口の健康は、食事を楽しみ、人とのつながりを保つための身近な基盤となる。

わが国では 8020 運動などにより、高齢者の歯の保有状況は改善した。一方、歯が残っていても「硬いものがかみにくい」「食事中にむせる」「言葉がはっきりしなくなった」といった変化は生じる。こうしたささいな「口の衰え」に気づき、早めに対応するための考え方が「オーラルフレイル」である。5つの項目でお口の状態を確認する「OF-5」を入口として、気になる変化があれば歯科医療機関で詳しく調べ保険病名として位置づけられている「口腔機能低下症」の診断、さらに個々に合った対策につなげることが大切である。

口の機能の課題は高齢期だけではなく、子どもから高齢者まで、生涯を通じて育み、守る「ライフコースアプローチ」が求められる。小児期には食べる、話すなどの機能の発達を見守り、必要に応じて新たに病名として位置づけられた「口腔機能発達不全症」を評価・支援する。う蝕、歯周疾患の予防、管理に加え、口の機能の低下（発達不全）を早めに見つけ、食事や栄養、全身の状態とあわせて支援する。こうした取組を生涯にわたってつなぐことが、健康長寿につながる。

住民にとっては、食事や会話で感じる小さな変化を見逃さず、気になるときにかかりつけ歯科医師に相談することが重要なポイントである。本講演では、オーラルフレイルの基本と日常で気づけるサイン、口腔機能低下症などの関係を紹介し、地域で「食べる力」を支えるために、それぞれの立場からできることを考えたい。

FAX018-862-9122

秋田県歯科医師会行き

令和 8 年 月 日

「第 25 回秋田県歯科保健大会並びに歯科保健医療フォーラム」
参 加 申 込 書

所属（勤務先）	職 種	ふりがな 氏 名

【連絡先】 所属名(勤務先) 担当者名

電話番号 (.....) -

＊ 当日参加も可能ですが、できるだけ事前に、FAX（018）862-9122 又は郵送にて、秋田県歯科医師会事務局へお申込みください。

